

日々の田高（自動販売機が新しくなりました。）

4月に新しい自動販売機が設置されました。契約期間は、令和8年度から3年間です。

日々の生活に密着していることから、生徒会執行部が中心に仕様書を作成し、事業者様からの提案書を検討。その検討内容を教職員の選定委員会を通じて吟味し、学校長が事業者様を決定することとしました。

今回の自動販売機更新では、各社から食品の販売に関する企画をいただきました。これまで、飲料のみでしたので、食品が販売できることは、大きな魅力です。一方、従前より昼休みには、自家製パンの販売があり、令和8年度からは、お弁当の販売も始まります。

自動販売機の仕様書作成や選定に関わる基本姿勢を決める。

生徒会では、生徒へのアンケートや企画書作成にあたり、以下を基本姿勢としました。

- ・ユーザー目線ではなく運営側として考える
- ・金銭面、健康面から考える
- ・生徒の需要から考える
- ・これからの3年間のことを考える

自動販売機で食品を取り扱うかアンケートを実施

食品販売希望 91.4%

そこで、生徒会執行部は、1・2年生を対象に食品販売の希望の有無と食品を販売する場合の品目についてアンケートを実施しました。その結果、91.4%の生徒が食品販売を希望していることがわかりました。販売の品目については、自動販売機は3台までしか設置できないという条件がありますが、様々な意見がありました。いくつか紹介すると、

自販機の食品について

この田園調布高校の未来を決めるために皆さん必須で「はい」か「いいえ」で答えてください。参考程度につかいます。食品の例として、菓子パンやおにぎり等(コンビニに売っている物的な)

1. 自動販売機に食品は必要だと思いますか？

はい

いいえ

送信

- ・部活動や間食、少しお腹がすいたときに食品販売があると便利（多数）
- ・部活動や放課後に勉強をする際の補食は、日常の生活の質の向上につながる。
- ・新たに食品を販売することで、校内美化への課題が生じるのではないかな。
- ・飲料の販売（種類や本数）が少なくなり、飲料が夏に売り切れてしまうのではないかな。
- ・令和8年度から、お弁当の販売も始まるので、食品の供給量が多くなり、売れ残りが発生した場合の食品ロスの問題を考える必要もあるのではないかな。

生徒会が様々な意見をふまえて仕様書の案を作成

食品の導入に賛成の意見を踏まえつつ、お弁当やパン販売、フードロス、校内美化などの観点をバランスよく考え、以下の内容を仕様書に盛り込むこととしました。

- ・補食としての栄養補助食品（バランス栄養食、プロテイン食品、ゼリー飲料）を販売する
- ・金額が控えめで、一定程度の販売がある紙パック飲料を販売する
- ・季節毎の商品入れ替えの際に、生徒会が中心となり生徒提案の商品を1～2種類程度導入する

各社の企画書をもとに、取り扱い事業者を検討

生徒会執行部生徒は、各社からの提案を受けて、導入する商品の価格や飲料の販売可能数量などを検討し、令和8年度から3年間の取り扱い事業所の生徒会執行部としての希望をプレゼンテーション資料にまとめ、資料をもとに、校長に説明をしました。

学校としては、生徒会の提案について希望について話を聞き、その内容をふまえつつ、幅広い視点で検討を加えて、事業所の選定を行いました。



新しい自動販売機が到着



新しい自動販売機が届きました。



補食食品や紙パック飲料の販売ができます。

4月の販売開始後に、商品を納入する担当の方にお話を伺うと、栄養補助食品のうち単価が安い商品の売れ行きが良いとのことでした。これは、生徒会執行部が事業者を選ぶ際に上がったことでもあります。生徒会の生徒たちの「読み」が、実際の販売になった際にも同じ結果となり、同じ世代だからこそわかる「お財布の感覚」なんだと感心しました。

◆生徒会執行部の生徒たちのコメント◆

- 以前から、生徒から自動販売機に食品が欲しいと言われていたので、導入できてよかった。
- 生徒の意見も重視しつつ、健康面や需要バランスなどを考えるなど、運営側として契約に関わることは、とても大変だったけれども、貴重な体験ができた。
- これから食品導入による校内美化の課題が生じる可能性があるがあるので、その対策もしていきたいと思う。